

令和8年3月19日

岐阜県DX推進コンソーシアム 令和7年度第1回総会

1. 総会に付議すべき事項

第1号議案 岐阜県DX推進コンソーシアムの存続期間の延長と
それに伴う役員の継続について
(岐阜県DXコンソーシアム設置要綱変更(案))

第2号議案 令和7年度事業報告(案)について

第3号議案 令和7年度収支決算見込(案)について

第4号議案 令和8年度事業計画(案)について

第5号議案 令和8年度収支予算書(案)について

(空白)

岐阜県DX推進コンソーシアムの存続期間の延長と それに伴う役員の継続について (岐阜県DXコンソーシアム設置要綱変更(案))

令和5年度に設立した岐阜県DX推進コンソーシアムは、設置要綱第3条に定める3年の存続期間の最終年度を迎えました。この3年を経て、DXの取り組み状況を確認すると、会員の約6割はデジタル化の段階であり、ビジネスモデルや組織の風土・文化の変革など真のDXにまで至っている企業は3割程度にとどまっています。

このため、岐阜県DX推進コンソーシアムの存続期間を延長し、継続して活動を行うため「岐阜県DX推進コンソーシアム設置要綱」を下記の通り変更するものです。

[主な変更点]

1. 存続期間の変更(第3条関係)

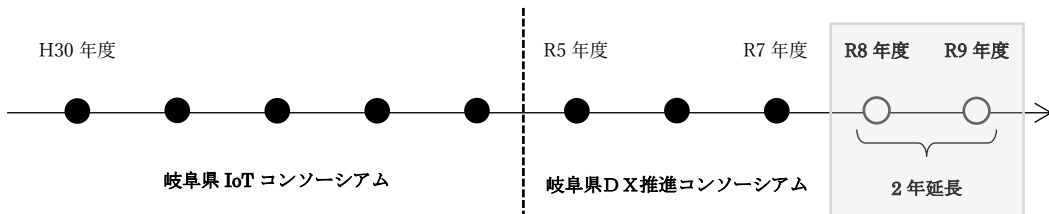
コンソーシアムの存続期間は、令和9年度決算に関する総会終了日までを目途とする。

2. 役員の任期(第10条関係)

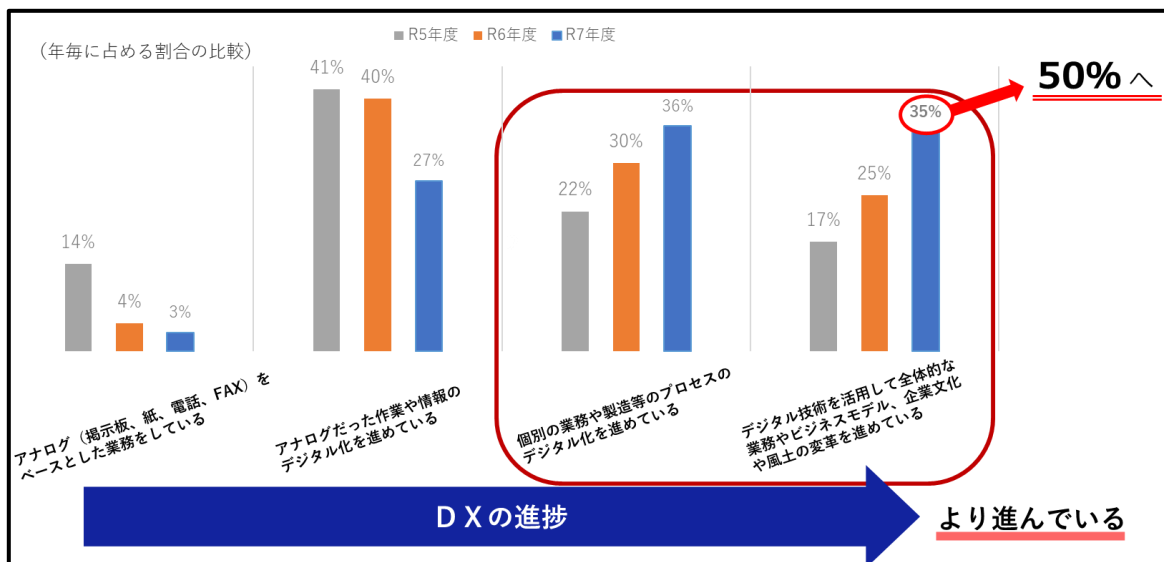
理事の任期は、令和9年度決算に関する理事会終了日までとする。

監事の任期は、令和9年度決算に関する理事会終了日までとする。

【参考】これまでの経緯



【参考】令和7年度 会員アンケート「DXの推進状況」



岐阜県DX推進コンソーシアム設置要綱
新旧対照表(抜粋)

新	旧
<p>(存続期間) 第3条 コンソーシアムの存続期間は、令和9年度決算に関する総会終了日までを目途とする。</p>	<p>(存続期間) 第3条 コンソーシアムの存続期間は、令和7年度決算に関する総会終了日までを目途とする。</p>
<p>(役員の任期) 第10条 理事の任期は、令和9年度決算に関する理事会終了日までとする。 2 監事の任期は、令和9年度決算に関する理事会終了日までとする。</p>	<p>(役員の任期) 第10条 理事の任期は、令和7年度決算に関する理事会終了日までとする。 2 監事の任期は、令和7年度決算に関する理事会終了日までとする。</p>
<p>附 則 5 この要綱は、令和8年4月1日から施行する。</p>	

令和7年度事業報告（案）

（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

令和5年4月1日よりデジタルトランスフォーメーションの推進に資するために、岐阜県 IoT コンソーシアムを改組した「岐阜県DX推進コンソーシアム」（以下、「コンソーシアム」という。）は、3年度目となる令和7年度、会員のデジタルトランスフォーメーション（以下DX）を推進するため、各種課題の解決や事業の再構築等を実現するためのイベント等を多数実施した。

また、DXに関する普及啓発及び、産学官連携のもとコンソーシアムに参加する企業・団体等が実施する実証事業等への助成等各種活動を支援することで、県内企業の生産性向上や技術開発、新商品・新サービス創出を推進した。以上の活動により年度当初336の会員数が346に増加した。

（令和8年2月25日時点の会員数349者※（一般：238 団体：69 学術：26 行政：16））

※「者」とは、企業と団体等を合わせた数量の単位として便宜的に使用するものになります。

（以下の実績も同様）

《事業概要》

【普及啓発事業】

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1 講演会・セミナー、研修会等の開催 | 8回開催（予定含む） |
| 2 先進事例調査 | 4回開催 |
| 3 会員間の連携やマッチングの支援 | 2回開催（予定含む） |
| 4 広報事業 | 20回実施（予定含む） |
| 5 その他 | |

【活動支援事業】

- | | |
|-------------------------------|----------------|
| 1 ワーキンググループ活動の支援 | 11 ワーキンググループ |
| 2 ワーキンググループが行う研究事業・実証事業への助成事業 | 11件 85,000千円補助 |

※内訳

- ・ワーキンググループ事業費補助金 85,000千円(11WG)
- うち DX推進事業 50,000千円(5WG)
- デジタル活用事業 35,000千円(6WG)

- | | |
|-----------------------|------------|
| 3 ワーキンググループの活動助成金交付事業 | 5件 484千円補助 |
|-----------------------|------------|

《事業内容》

【普及啓発事業】

1 講演会・セミナー、研修会等の開催

DXの推進及びDX推進につながるIoT・AI等を活用した生産性向上、新商品・新サービス開発に関するテーマで、講演会・セミナー等を8回開催し、のべ211名（内コンソーシアム会員124名）が参加した。

1	5月13日 <small>（主催） オンライン</small>	デジタルインボイス活用推進協議会 <small>（出席者18名／オンライン配信視聴者6名）</small> <ul style="list-style-type: none"> ・座長 岐阜県DX推進コンソーシアム 理事長 松島桂樹 ・委員 岐阜商工会議所 中小企業相談所長 鬼頭 貴士 氏 岐阜県商工会連合会 広域推進課 課長 横山 建人 氏 岐阜県中小企業団体中央会 専務理事 川本 敏 氏 株式会社インフォファーム DX事業部 執行役員副事業部長 増田 信政 氏
---	---	--

第 2 号議案

1		<p>株式会社十六銀行 DX部 課長 小林 雅樹 氏 株式会社大垣共立銀行 IT 統轄部 課長 箕浦 信 氏</p> <p>・アドバイザー等 経済産業省中部経済産業局 地域経済部 情報政策室 室長補佐 松永 亮 氏 岐阜県 商工労働部 産業デジタル推進課長 千田 友清 氏 一般社団法人全国銀行資金決済ネットワーク 企画部長 千葉 勇一 氏 株式会社TKC 企業情報営業本部 デジタルインボイス推進部長 伊藤 栄芝 氏 弥生株式会社 経営企画本部 政策渉外部 担当マネージャー 岡部 毅 氏 株式会社野村総合研究所 フェロー 梅屋 真一郎 氏 株式会社ミライコミュニケーションネットワーク 内部監査部 上野 麻記子 氏</p> <p>・登壇者 グレートインフォメーションネットワーク株式会社 安田 憲昭 氏</p>
2	<p>5月23日 (主催) リアル+オンライン (共催：株式会社 Mirume AI/株式会 社大垣共立銀行) 【会場】 OKB SCLAMB (岐阜大学内)</p>	<p>AIセミナー 38者50名参加(内会員13者22名)</p> <p>「AI外観検査装置導入セミナー」</p> <p>◇セミナー1「製造業AI外観検査の最前線」 岐阜大学 工学部 電気電子・情報工学科 情報コース教授/ 人工知能研究推進センター センター長 加藤 邦人 氏</p> <p>◇セミナー2「最新医療用画像解析の現状」 岐阜大学 工学部 電気電子・情報工学科 情報コース 原 武史 氏</p> <p>◇セミナー3「高難度欠陥対応AI外観検査装置」 株式会社 Mirume AI 代表取締役社長 大野 一茂 氏</p> <p>◇企業展示：ダイドー株式会社、株式会社ヴィ・エス・テクノロジー、スターテクノ株式会社、日電精密工業株式会社</p>
3	<p>6月26日 (主催) リアル+オンライン (共催：岐阜県図 書館) 【会場】 岐阜県図書館</p>	<p>令和7年度第1回講演会 97者104名(内会員49者66名)</p> <p>「AI技術の進化と未来 ～生成AIの現在地とものづくりを変えるPhysical AIの可能性～」</p> <p>◇第1部「AIと共に生きる時代における教育と研究へのAI活用」</p> <p>◇第2部 「AIによる画像認識技術の進化 -25年の技術変遷を振り返る-」 講師：中部大学 理工学部 AI ロボティクス学科・工学部 ロボット理工学科 教授 藤吉 弘亘 氏</p>
4	<p>7月30日 (主催)リアル 【会場】 ドリームコア 2F 会議室</p>	<p>ワークショップ 14者19名参加(会員限定)</p> <p>「AI外観検査装置体験ワークショップ～目視検査からAI検査へ～」 (午前・午後の2回開催)</p> <p>◇株式会社 Mirume AI が開発した検査装置の紹介 ◇デモ機を用いた欠陥/異常検出を体験 ◇ヒートマップでの確認等々を体験 講師：株式会社 Mirume AI 代表取締役社長 大野 一茂 氏</p>

第2号議案

5	<p>12月16日・17日 (共催)リアル (岐阜大学人工知能研究推進センター、岐阜県産業技術総合センター等) 【会場】 じゅうろくプラザ</p>	<p>岐阜県次世代企業技術者育成事業 11者14名参加(内会員8者11名) 「データサイエンス講習会」 【1日目】 ◇機械学習の紹介(講義) : 歴史、社会におけるAIの活用 ◇Python 入門(演習) : Python プログラミングの基礎 ◇データ解析のための基本操作(演習) : データファイルの読込、統計の基礎(平均値、最大、最小など)、グラフによる可視化 【2日目】 ◇機械学習演習(講義と演習) : (1) 教師あり学習 (2) 教師なし学習 ◇前処理(演習) : データクリーニング等 ◇機械学習実践(演習) : 画像分類、音声認識、スケジューリング、LLM など ◇質疑応答</p> <p style="text-align: right;">講師 : 国立大学法人 東海国立大学機構 岐阜大学 工学部 電気電子・情報工学科 情報コース教授 鈴木 優 氏・原 武史 氏</p>
6	<p>【開催中止】 1月22日 (主催) リアル+オンライン (共催 : 岐阜大学人工知能研究推進センター、岐阜大学工学部電気・電子情報工学科情報コース) 【会場】 ソフトピアジャパン 3F ソピアホール &ホワイエ</p>	<p style="text-align: center;">＝雪のため、開催中止＝ (参考 参加申込 リアル : 216名、オンライン : 317名) 令和7年度第2回講演会 「AIが社会・企業経営にもたらすインパクト」 ◇第1部 「AI×脳科学から見る近未来」 講師 : 岐阜大学 客員教授 茂木 健一郎 氏 ◇第2部 「岐阜から考えるAI×ビジネスの未来」 登壇者 : 岐阜大学 客員教授 茂木 健一郎 氏 岐阜大学 工学部 電気電子・情報工学科 情報コース教授 ／人工知能研究推進センター長 加藤 邦人 氏 ◇交流会</p>
— 以下、開催予定 —		
7	<p>2月27日 (共催)リアル (岐阜大学人工知能研究推進センター、岐阜県産業技術総合センター等) 【会場】 ソフトピアジャパン 11F 研修室1</p>	<p>岐阜県次世代企業技術者育成事業 「生成AI活用講習会 ～ChatGPTで学ぶ事業者のための生成AI活用法～」 ◇生成AIの概要説明、活用事例の紹介 ◇ChatGPTへのプロンプト入力方法 ◇業務での活用演習(グループワーク)</p> <p style="text-align: right;">講師 : 岐阜大学 工学部 電気電子・情報工学科 情報コース教授 ／人工知能研究推進センター センター長 加藤 邦人 氏</p>
8	<p>3月3日 (共催) リアル+オンライン (主催 : 公益財団法人ソフトピアジャパン、共催 : ぎふIT・ものづくり協議会)</p>	<p>公益財団法人ソフトピアジャパン DX講演会 「見える化」できないものを読む力 ～人とデジタルが補完し合う、改善が循環する組織のリーダー論～ ◇改善が途絶える本当の理由 : フローと“状態のズレ” ◇“見える化できない状態”を読む</p>

第2号議案

8	<p>【会場】 ソフトピアジャパン 10F 大会議室</p>	<p>◇状態別アプローチ：改善が循環するための介入デザイン ◇DX時代のリーダーに求められる役割</p> <p style="text-align: right;">講師：横浜国立大学 経営学部 経営学科 グローバルビジネス ／大学院国際社会研究院 国際社会科学部門 教授 横澤 公道 氏</p>
9	<p>3月19日 (主催) リアル+オンライン 【会場】 ソフトピアジャパン 1F セミナーホール &10F 大会議室</p>	<p>岐阜県DX推進コンソーシアム令和7年度総会記念講演会</p> <p>「総務省が狙うフロンティア通信分野 ～宇宙から、量子、AI、データセンター、IOWNなど～」</p> <p style="text-align: right;">講師：総務省 大臣官房審議官（国際戦略局、郵政行政部） 柴山 佳徳 氏</p>

2 先進事例調査

DXの推進に取り組む県内外の先進的な企業や施設等6カ所を見学した。

1	<p>5月23日 (共催) ぎふIT・ものづくり協議会</p>	<p>第1回 11者12名参加（うち会員 8者8名） 「通信分野でイノベーションに取り組む企業とAIスタートアップ拠点を見る」 見学先：①SYNC Labo（シンクレイヤ株式会社／愛知県名古屋市） ②STATION Ai（愛知県名古屋市）</p>
2	<p>7月23日 (主催)</p>	<p>第2回 15者15名参加（会員限定） 「経営者主導によるDX成功と苦労のリアル ～ローコードによる内製化で変わった三共電機の挑戦～」 見学先：③三共電機株式会社（愛知県稲沢市）</p>
3	<p>11月6日 (主催)</p>	<p>第3回 12者14名参加（会員限定） 「業界常識にとらわれない経営方針が生んだ協和工業のDX 「全体最適化」と「戦略的原価システムづくり」」 見学先：④協和工業株式会社 長浜工場（滋賀県長浜市）</p>
4	<p>12月2日 (主催)</p>	<p>第4回 10者13名参加（会員限定） 「オープンイノベーションの最前線を体感！共創で生まれる新事業創出拠点を見る」 見学先：⑤QUINT BRIDGE（大阪府大阪市） ⑥DX Smart Lounge Osaka （株式会社日立システムズ／大阪府大阪市）</p>

3 会員間の連携やマッチングの支援

52の会員が参加し11のワーキンググループが発表する成果報告会を開催し、会員間の交流を促進した。

・ワーキンググループ事業費補助金 11WG

1	<p>2月18日 (主催) リアル+オンライン 【会場】 ソフトピアジャパン 3F ソビアホール</p>	<p>岐阜県DX推進コンソーシアム 令和7年度ワーキンググループ事業費補助金「成果報告会」</p> <p style="text-align: right;">136者218名（内会員 99者172名）</p> <p>○ 岐阜県DX推進コンソーシアムワーキンググループ活動補助金採択事業の11のWGのプレゼンテーションを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワーキンググループ事業費補助金 11WG <li style="padding-left: 20px;">うち DX推進事業 5WG
---	---	--

1		デジタル活用事業	6 WG
		○ 成果展示（補助金採択 11 の WG） ○ 交流会	
— 以下、開催予定 —			
2	3月19日 （主催） リアル+オンライン 【会場】 ソフトピアジャパン 1F セミナーホール	岐阜県DX推進コンソーシアム令和7年度総会	

4 広報事業

毎月1回の定例メールマガジンを配信するとともに、ダイナミックに臨時便として随時メールマガジンを配信し、積極的に活動の広報を実施した。

令和7年4月 から 令和8年3月	メールマガジンの配信 毎月1回（原則第2営業日）+臨時号 合計18回配信（予定含む）
令和7年 5月23日	AI外観検査装置導入セミナー 出展
令和7年10月 から 令和7年11月	会員企業のDX、AI活用に対する取組状況を把握するためのアンケート調査（有効回答数 130）

5 その他

- 1) 進化が凄まじい最新のAI知識・スキルを習得するため、職員1名が受講。
 中部大学 CU Synergy Program（社会人向け教育プログラム）
 - 「AI基礎と応用」講座（前期）受講
 4月8日～7月22日 ※週1日（3時間）講義・実習
 - 「AI基礎と応用アドバンスコース」講座（後期）受講
 9月30日～1月20日 ※2週1日（3時間）講義・実習
 ・講師 理工学部AIロボティクス学科 藤吉弘亘教授（岐阜市出身）他
- 2) 講師派遣
 - 岐阜聖徳学園大学経済情報学部へ講師派遣（1名）
 6月10日～7月22日 ※週1日（1.5時間講義）
 「情報と社会」（計15回）の講義のうち、後半7回を担当
 県内中小企業経営者・DX推進担当者8名に登壇してもらい、DXの現状を紹介。
 - 川崎岐阜協同組合へ講師派遣（1名）
 2月10日「生成AI勉強会」
- 3) 大垣市経済部産業振興室への協力
 - 「令和7年度ものづくり産学官連携促進セミナー DX時代の産学官連携～地域の研究事例から学ぶ～」にて講演
 1月19日～2月17日（YouTubeによる録画配信）

岐阜県DX推進コンソーシアムの活動とWGの取り組み・成果を紹介

4) 意見交換会

- ・中部経済連合会
- ・経済同友会（地域共創ワーキング・グループ）
- ・中部経済産業局（中部DX推進コミュニティ）

5) 企業等からの相談対応（令和8年2月25日時点）

39者59回（伴走型支援3社13回含む）

【活動支援事業】

1 ワーキンググループ活動の支援

必要に応じて、打合せ会議を開催し、事業進捗を支援した。

2 ワーキンググループ等が行う研究事業・実証事業への助成事業

11のワーキンググループ（52会員）の活動に対して対象経費の助成を行う予定。

※内訳

- ・ワーキンググループ事業費補助金 85,000千円(11WG：52会員)
 - うちDX推進事業 50,000千円(5WG：29会員)
 - デジタル活用事業 35,000千円(6WG：23会員)

※補助率

○ワーキンググループ事業費補助金

- ・DX推進事業

《活動費・外注費》

補助対象経費の2分の1以内、

補助限度額：上限10,000千円

《調査連携費》大学等研究機関に依頼する調査等の経費

補助対象経費の10分の10以内、

補助限度額：上限2,500千円

- ・デジタル活用事業

《活動費・外注費》

補助対象経費の2分の1以内、

補助限度額：上限5,000千円

《調査連携費》大学等研究機関に依頼する調査等の経費

補助対象経費の10分の10以内、

補助限度額：上限2,500千円

《助成した11のワーキンググループと事業課題》

○ワーキンググループ事業費補助金

1-5 DX推進事業

6-11 デジタル活用事業

第2号議案

1	事業課題	職場の働き方改革を大規模マルチモーダルAIで研究開発～カメレオンコードで特定した人物の生産活動を大規模マルチモーダルAIに取込み最適な指示を提案～
	ワーキンググループ名	大規模マルチモーダルAIによる働き方改革の研究開発WG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業：(株)インフォファーム メンバー企業：国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学 (株)ビーアイエムシー、矢橋ホールディングス(株)、リコーエレメックス(株)、セブン工業(株)、(株)LIXIL、サラヤ(株)、(株)椿本チエイン、岡野バルブ製造(株)、三菱電機(株)
2	事業課題	食品製造販売業界向けAI需要予測の導入と実証検証
	ワーキンググループ名	食品製造販売業界向け食品ロス削減推進WG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業：(株)デリカサイト メンバー企業：独立行政法人 国立高等専門学校機構 岐阜工業高等専門学校、(株)ミライコミュニケーションネットワーク、水了軒(株)
3	事業課題	広報等の「組版」プロセスを生成AIで半自動化するソリューション研究開発
	ワーキンググループ名	生成AI組版ソリューション研究開発WG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業：(株)サンメッセ メンバー企業：岐阜協立大学、大垣市、山県市、下呂印刷(株)
4	事業課題	「実運送体制管理簿」の電子化による業務効率化
	ワーキンググループ名	物流DXワーキンググループ
	ワーキンググループ構成員	幹事企業：(株)ZENSHIN メンバー企業：(株)ブイ・アール・テクノセンター、朝日大学、一般社団法人岐阜県トラック協会
5	事業課題	企業内挑戦者の発掘と支援による組織DX促進事業（副題）内発的動機とビジョンに基づく挑戦の可視化と共創支援プラットフォームHAKKAの開発と実証
	ワーキンググループ名	生成系AIを活用した内発的挑戦を核とした組織変革とDX推進WG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業：岐阜乗合自動車(株) メンバー企業：(株)アルジェブラテクノロジーズ、(株)リリフル、Eclat+(エクラプラス)、情報科学芸術大学院大学
6	事業課題	「AIを活用した検査装置&生産状況モニタリングシステムを開発」～AI画像認識を利用して労働環境の改善と生産効率化を実現～
	ワーキンググループ名	食品製造業と金属加工業の異業種連携によるAI開発および活用WG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業：アダチ製菓(株) メンバー企業：(株)樋口製作所

第2号議案

7	事業課題	AI活用による生産計画の自動立案 ～協力会社との連携・属人化した生産計画からの脱却～
	ワーキンググループ名	生産計画のAI活用におけるサプライチェーン連携強化の実証WG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業:(株)トーヨーパック メンバー企業:協葉電工(株)、(株)MKT-SYSTEM、美濃商工会議所、特定非営利活動法人ITC中部
8	事業課題	生産性の向上、エネルギーを削減、効率化を実施して、業界のDX化を目指す。 ～DX化した付加価値のある製品づくりのノウハウを尾州地域から全国へ発信する～
	ワーキンググループ名	紡績業界の生産性向上、製品の付加価値UPをDXで解決するWG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業:長谷虎紡績株式会社 メンバー企業:(株)長谷虎リネンサービス、(株)ファーベスト、(株)OKB総研、国立大学法人 信州大学 繊維学部、岐阜県毛織工業協同組合
9	事業課題	生成AI による工程自動生成システムの構築
	ワーキンググループ名	工程管理支援システムと生成AIを開発・融合させるWG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業:株式会社黒田製作所 メンバー企業:(有)希光モールド、東海国立大学機構 岐阜大学
10	事業課題	マスタメンテナンスの半自動化によるシステム運用に関わる負荷の大幅削減
	ワーキンググループ名	DX 推進による業務改善及びAIの実用性検証WG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業:(株)大野ナイフ製作所 メンバー企業:(株)ユニフェイス、(株)オフィスむしか
11	事業課題	AIで属人化の排除！～铸件不良の判定と原因追及～
	ワーキンググループ名	鑄造技術のデジタル化と技術継承を目指すワーキンググループ
	ワーキンググループ構成員	幹事企業:(株)岡本 メンバー企業:(株)STARUP、(株)ナベヤ、独立行政法人 国立高等専門学校機構 岐阜工業高等専門学校

第 2 号議案

3 ワーキンググループの活動助成金交付事業 5件 484千円補助
補助限度額：100千円 WG内での講演会・セミナーなどを支援した。

1	活動内容	実施日:令和7年5月31日 5名参加(うち会員 3名) 「たった1日で分かる! FileMaker開発の魅力と可能性 Vol.2」
	ワーキンググループ名	ローコードツール活用 W/G
	ワーキンググループ構成員	幹事企業:OKコンピューター メンバー企業:サンズITコンサルティングオフィス、美濃工業(株)、岐阜車体工業(株)、エーシーネットワーク(株)、(株)アド・プランニング、(株)テクノミズギ、VIVエンジニアリング(株)、カオス(株)、(有)トリガーデバイス、アクア・マースト、(株)兼山自動車工業所
2	活動内容	実施日:令和7年7月11日 25名参加(うち会員 11名) 先輩起業家との新規事業創出研究会 「未来を拡張するAI ～セカイカメラ 井口尊仁のネクストビジョン～」
	ワーキンググループ名	先輩起業家との新規事業創出研究会
	ワーキンググループ構成員	幹事企業:(株)グラスプアット ジェアー メンバー企業:(株)OKB総研
3	活動内容	実施日:令和7年11月12日 9名参加(うち会員 4名) 「カスタムAppの進化系FileMakerから繋がり広がる世界」
	ワーキンググループ名	ローコードツール活用 W/G
	ワーキンググループ構成員	幹事企業:OKコンピューター メンバー企業:サンズITコンサルティングオフィス、美濃工業(株)、岐阜車体工業(株)、エーシーネットワーク(株)、(株)アド・プランニング、(株)テクノミズギ、VIVエンジニアリング(株)、カオス(株)、(有)トリガーデバイス、アクア・マースト、(株)兼山自動車工業所
4	活動内容	実施日:令和7年12月3日 9名参加(うち会員 7名) 「Filemaker で身近な問題をDX化してみよう」
	ワーキンググループ名	ローコードツール活用 W/G
	ワーキンググループ構成員	幹事企業:OKコンピューター メンバー企業:サンズITコンサルティングオフィス、美濃工業(株)、岐阜車体工業(株)、エーシーネットワーク(株)、(株)アド・プランニング、(株)テクノミズギ、VIVエンジニアリング(株)、カオス(株)、(有)トリガーデバイス、アクア・マースト、(株)兼山自動車工業所
5	活動内容	実施日:令和8年1月27日 32名参加(うち会員 32名) 「AutoMLによるAI・機械学習の基礎勉強会」
	ワーキンググループ名	ドローン空撮映像の画像認識勉強会WG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業:岐阜女子大学 メンバー企業:(有)笠原商事、ナガイネット(有)

令和7年度収支決算見込(案)

収入の部

単位：円

科 目	当初予算額	決算額(見込)	備 考
会費収入	2,290,000	2,340,000	年会費：10,000円×234会員
負担金	91,600,000	90,800,000	ソフトピアジャパン事業費補助金
雑収入	0	33,440	預金利息
合計	93,890,000	93,173,440	

支出の部

科 目	当初予算額	決算額(見込)	備 考
運営事業費	93,890,000	92,599,364	
普及啓発事業	8,190,000	7,115,364	講演会・セミナー、研修会、交流会、会員間の連携事業、広報事業等
活動支援事業	85,700,000	85,484,000	ワーキンググループ事業費補助金 ワーキンググループ活動助成金
余剰(返還)額	0	574,076	(公財) ソフトピアジャパンへ返還
合計	93,890,000	93,173,440	

令和8年度事業計画（案）

【普及啓発事業】

- 1 講演会・セミナー、研修会等の開催
A I 等を活用したD Xの推進、生産性向上や技術開発、新商品・新サービス創出の実現をテーマに講演会・セミナーを年2回程度、研修会等を年2回程度開催する。
- 2 先進事例調査
A I、I o T、データ分析、ロボット等によりD Xの実現に取り組むユニークな企業または先進的な企業や施設等の見学を年3回程度実施する。
- 3 会員間の連携やマッチングの支援
 - ・ワーキンググループ事業費補助金の成果報告会を実施し、D X実現に向けた実証事業の事例発表や意見交換会を実施する。
 - ・会員企業間、大学や学術機関との連携を活発化させるための各種相談に随時対応するとともに、適宜交流会を開催する。
- 4 D X成功メカニズムの調査事業
補助金などD X投資の効果やワークエンゲージメントに関する調査を実施し、D Xが成功するメカニズムを解明する。その成果を会員企業に共有するとともに、ワークショップを開催する。
- 5 広報事業他
 - ・メールマガジンを配信しD X推進コンソーシアムの取り組みを会員に提供し、会員相互の情報共有を図る。
 - ・他団体と連携しD Xの推進と実現に向けた普及啓発を図る。
 - ・会員企業のD Xに対する取り組み状況を把握するため、アンケート調査を行う。
 - ・会員からの要望に従い、個別の相談に対応しデジタル化等による課題解決を支援する。

【活動支援事業】

- 1 ワーキンググループが行う研究事業・実証事業への助成事業
 - ◆ワーキンググループ事業費補助金
 - ・A I 等を活用したD Xの推進・生産性向上等を実現するため、コンソーシアム会員による複数企業等で構成されるワーキンググループの活動に対して導入・実証、研究、開発経費等に対して助成する。
 - 【補助限度額・補助率】
 - 補助対象経費の1/2以内※ 上限5,000千円、
 - WG内の大学へは別途 補助率10/10 上限1,000千円
 - ※ 設立10年未満のスタートアップ企業の経費については優遇措置
- 2 ワーキンググループの活動支援
 - ・A I やローコード活用、産学官連携による地域の課題解決等新しい動きに取り組む会員企業で構成されるワーキンググループが実施する勉強会・研修会・展示会出展等広報活動等の費用の一部を助成する（最大10万円/回）。

令和8年度収支予算書(案)

収入の部

単位：千円

科 目	本年度予算額	前年度予算額	備 考
会費収入	2,380	2,290	年会費：10,000円×238会員
負担金	63,100	91,600	ソフトピアジャパン事業費補助金
雑収入	0	0	
合計	65,480	93,890	

支出の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	備 考
運営事業費	65,480	93,890	
普及啓発事業	5,980	8,190	講演会・セミナー、研修会、調査研究、交流会、会員間の連携事業、広報事業等
活動支援事業	59,500	85,700	ワーキンググループ事業費補助、ワーキンググループ活動助成事業
合計	65,480	93,890	